

北区立としま若葉小学校 教育目標

思いやる子 ◎ 考える子 ○ がんばる子 ○ すこやかな子

- 学習指導要領（生き抜く力を育む）
- 「令和の日本型学校教育」の構築
- 北区教育ビジョン2020（3つの柱）

笑顔あふれるとしま若葉

-児童、保護者・地域、教職員の笑顔があふれる学校-

- 児童の実態
- 保護者・地域の皆様の思いや願い
- 学校評議委員会による評価

めざす学校像

○一人一人の子どもの達成感、自己肯定感を高められる学校

- (1)「主体的、対話的で深い学び」を得られる授業の実現
- (2)児童理解に基づく学校・学年・学級経営の実現
- (3)「自分や友達のよいところを認め合うこと」のできる教育活動の推進

○教職員が認め合い、力を発揮する学校

- (1)「はじめに子どもありき」の理念の下、指導力向上をめざす教職員の実現
- (2)組織的・効率的・実働的に取り組む教職員の実現
- (3)複数教員による指導体制を確立し、働き方改革に生かす教職員の実現

○家庭や地域住民と連携・協働する学校

- (1)保護者・地域から信頼される学校
- (2)地域とともにある学校の実現
 - ・保護者・地域の方の参画・協働による教育活動の推進
 - ・地域の一員として地域行事等にすすんで参加・貢献する児童の実現

【中期的目標と方策】

- ① 確かな学力の育成
 - ・基礎・基本を重視した指導の工夫・改善を図り、基礎学力の定着と思考力、判断力、表現力等の向上をめざす。
- ② 豊かな心の育成
 - ・基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生命を尊重し、互いのよさを認め合える心、判断力、公共心を育む。
- ③ 健やかな体の育成
 - ・心身ともに健康でたくましい児童を育てる。学校2020レガシー「困難を乗り越え、最後まであきらめない心を養う」の実現。
- ④ 特色ある教育活動の推進
 - ・サブファミリーの連携を強化し、地域や他校・園との連携を図りながら、安全・安心で社会に開かれた学校を実現する。

【今年度の取組目標と方策】

(1) 教育活動の目標と方策

- ① 確かな学力の育成
 - ・児童一人一人が「できる」「わかる」と実感できる授業づくりをめざして、児童の自己肯定感・自尊感情を育む。
 - ・算数少人数習熟度別学習加配教員（3～6年）、学力格差解消加配教員（2～4年）を配置し、確かな学力を育む。
 - ・「きたコン」の活用により、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、児童の興味関心を高める授業を推進する。
- ② 豊かな心の育成
 - ・ルールやマナーの理解、基本的な生活習慣の定着により、児童が落ち着いた生活を送ることができるようにする。
 - ・道徳教育を重視し、全教育活動を通じて思いやりの心、社会性や規範意識を身に付ける。
 - ・特別な支援を要する児童への校内体制の整備と関係機関との連携を深める。
- ③ 健やかな体の育成
 - ・体育科学習及び体育的行事（体育学習発表会、持久走記録会、なわとびチャレンジ）の充実を図り、体力向上を推進する。
 - ・休み時間の全員校庭遊びを励行し、運動に親しむ態度と運動習慣を醸成する。
 - ・朝ご飯の励行、食事マナー等、食育を推進するとともに、保健指導を推進し、健康で清潔な生活習慣を形成する。
- ④ 特色ある教育活動の推進
 - ・金管クラブの活動の充実を図り、学校・地域行事への積極的な参加を推進する。
 - ・朝読書、読み聞かせの推進を図り、読書習慣を身につけさせるとともに豊かな情操を育む。
 - ・異校種間の授業や行事の交流等を通し、小中一貫教育・幼保小連携の協力体制を構築する。

(2) 重点目標と方策

- ◇ 基礎学力の定着
 - ・教職員が互いに授業を参観し合い（年3回以上）、高め合うことのできる仕組みを整え、授業力を高める。
 - ・ベーシックタイム、学力フォローアップ教室、放課後学習、家庭学習等を充実させ、基礎学力の定着を図る。
- ◇ 基本的な生活習慣の定着・美しさを尊び、感性を養う教育の推進
 - ・「あいさつ・あつまり・あとしまつ」に全校体制で取り組む。全校朝会・道徳授業・児童会活動等を活用する。
 - ・SC・担任・巡回指導教室教員・特別支援教室専門員・保護者・関係機関との連携を強化し、支援体制を整える。
 - ・表現活動の充実を図る。美しさや感動、思いやりを感じ取り、実感することを通じて豊かな感性を育む。
- ◇ 体育・健康教育の推進
 - ・体力テストの結果を生かし、体育科学習や体育的活動において、重点的に体力向上に取り組む。
 - ・保健指導・食育の充実等により、児童の健康増進を図る。保護者・地域の協力も呼び掛け、健康教育を推進する。
- ◇ 学校ファミリーによる小中一貫教育の推進と地域との連携・協働の強化
 - ・明桜中サブファミリー校の教員を招き、研究授業を実施する。小中一貫教育の意識の向上と実践に取り組む。
 - ・金管クラブ等、地域行事への積極的参加を促し、地域への貢献を通して、郷土愛を育てる。